

WM-P860 / WM-P862 ワイヤレスマイクロホン

— もくじ —

安全上のご注意	2
取扱い上のお願	3
商品概要	3
各部のなまえとはたらき	4
操作のしかた	6
1. ご使用前の確認	6
2. 電池の持続時間	6
3. 電池が消耗すると	6
4. ご使用後は	6
上手な使いかた	7
使用上のご注意	9
電池カバーの開けかた	10
充電のしかた	10
電池(乾電池/専用充電式電池)交換について	11
マイク感度の設定について	12
グループ/チャンネルの設定について	12
こんなときは	14
保証とアフターサービスについて	15
消耗品について	15
商品の廃棄について	15
主な仕様	16

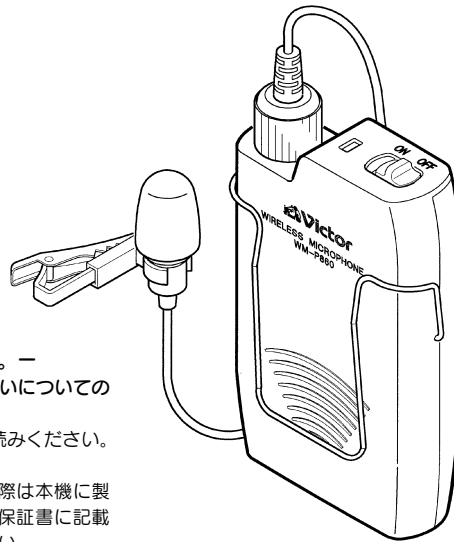
ワイヤレスマイクロホン

型名 **WM-P860**
WM-P862

技術基準適合証明品

抗菌

取扱説明書



イラストはWM-P860です

— お買い上げありがとうございます。 —

ご使用前に、この「取扱説明書」と同封の「電池の取扱いについてのご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

この機器を分解、改造しないでください。

またこの機器の改造は法律でも固く禁じられています。



分解禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

機器の故障や、電池の漏液、発火、破裂、火災の原因となります。



充電端子を絶対にショートさせないでください。

機器の故障や、電池漏液、発火、破裂、火災の原因となります。



屋外で使用中、雷が鳴りだしたら人体からこの機器を遠ざけてください。



金属類と一緒に持ち運ばないでください。

充電端子のショートにより、発熱発火の原因となります。



専用の充電式電池・充電器以外は使用しないでください。

専用品以外を使用すると、発熱・発火の原因となります。



注意

この機器を濡らさないでください。

水などの液体が入ると、発熱、感電、機器の故障の原因となります。



湿気やほこりの多いところ、また、炎天下の車内や暖房機器の近くなど高温の場所での使用、放置はしないでください。



故障の原因となります。

取扱い上のお願い

技術基準適合証明ラベルは大切に取扱ってください。

- この機器には、「技術基準適合証明品」をあらわす証明ラベルが貼ってあります。みだりに剥したり、損傷のないようにしてください。

水をかけないでください。

- 本機は、防水仕様になっておりません。室内プールなど、湿気の多い場所ではご使用にならないでください。また、汗、水滴などがつかないようにしてください。故障の原因となります。

お手入れは乾いた柔らかい布でおこなってください。

- 濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジンなど揮発性のものをかけたりしないでください。

充電端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

- 端子が汚れていると、接触不良となり、充電できないことがあります。

マイクプラグはみだりにさわったりしないでください。

また、時々乾いた柔らかい布で清掃してください。

- プラグが汚れると、接触不良となり、雑音の発生や、音質悪化の原因になります。

専用の充電式電池(別売の専用充電器に付属)は消耗品です。

- 専用の充電式電池の充放電回数は約500回です。これ以上の回数を過ぎた場合や、また古くなった場合など、充電をおこなっても機能が回復しなくなったら、電池の寿命とお考えください。このようなときは、指定の新しい充電式電池をお買い求めください。

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



直射日光のあたらない、風通しのよい場所に保管してください。

- 長期間(2週間以上)使用しないときは、乾電池あるいは専用充電式電池を必ず本機からはずしてください。

商品概要

〈WM-P860〉

- 本機は、タイピン型のスピーチ用ワイヤレスマイクロホンです。
- マイク感度の切替えが可能です。付属のネックホルダーと組合せることにより、ハウリングをおこしにくくし、より明瞭な音声が集音できます。

〈WM-P862〉

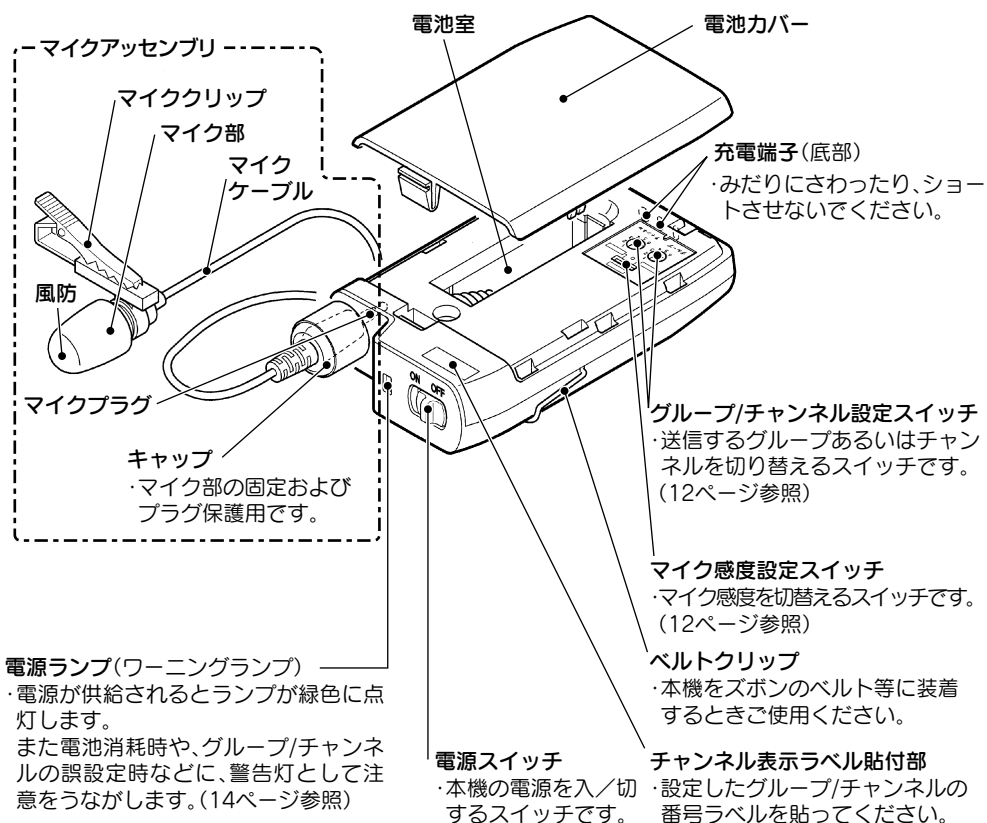
- 本機は、ヘッドセット型のスピーチ用ワイヤレスマイクロホンです。
- 長時間の使用に適した耳掛け型ヘッドバンドです。
- フレキシブルアームの採用により、マイクユニットの位置を自由にセットできます。

〈WM-P860/WM-P862〉

- PLLシンセサイザー方式の採用により、800MHz帯B型ワイヤレスマイクに割り当てられた30波の周波数設定が可能です。
- 雑音低減回路を採用していますので、雑音が少なく、小さな音から大きな音まで歪みの少ない集音ができます。
- 空中線電力は5mWのハイパワーです。
- 電源は単3形乾電池と、充電式(別売の専用充電器を使用)の2ウェイ電源方式です。
- ケースは抗菌処理を施しています。

各部のなまえとはたらき

〈WM-P860〉



⚠ 警告

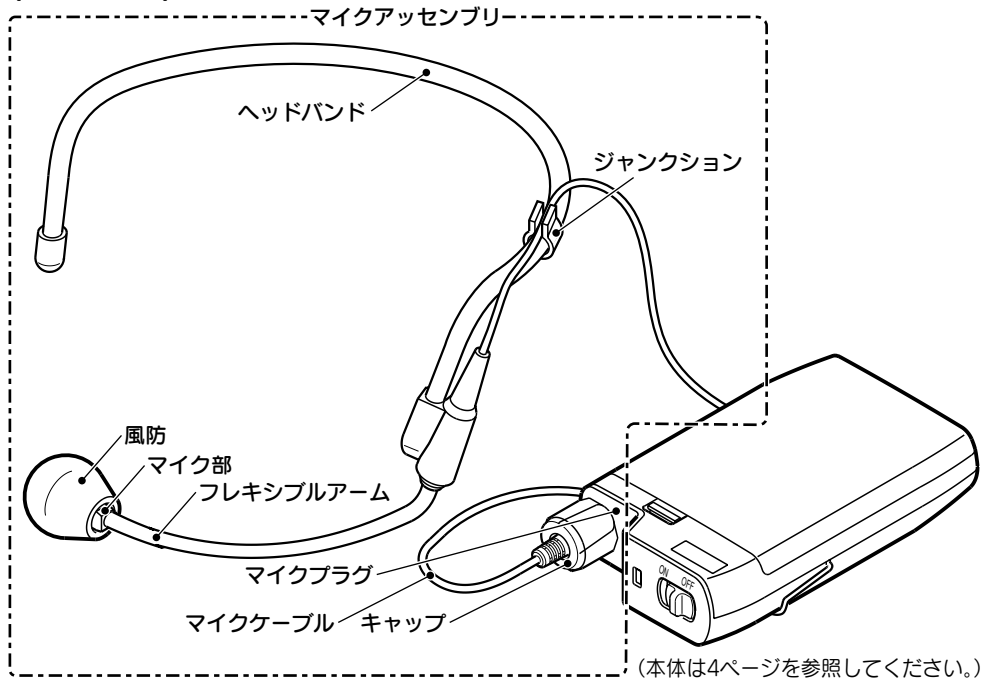
充電端子をみだりにさわったり、ショートさせないでください。

機器の故障や、電池の漏液、発火、破裂、火災の原因となります。



- 風防がない状態でのご使用は周りの雑音(特に人の息)を拾いやすくなりますのでおやめください。
- マイクプラグはみだりにさわったりしないでください。
また、時々乾いた柔らかい布で清掃してください。
プラグが汚れると、接触不良となり、雑音の発生や、音質悪化の原因になります。
- 風防、マイククリップの単品、キャップ、およびマイクアッセンブリ(WM-P860のみ)は消耗品です。

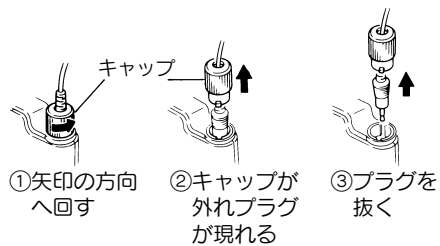
〈WM-P862〉



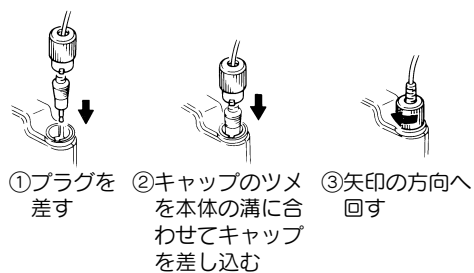
■マイクアッセンブリの取りはずしかた

マイクアッセンブリは本体から取りはずすことができます。(ロック式)

取りはずしかた



取り付けかた



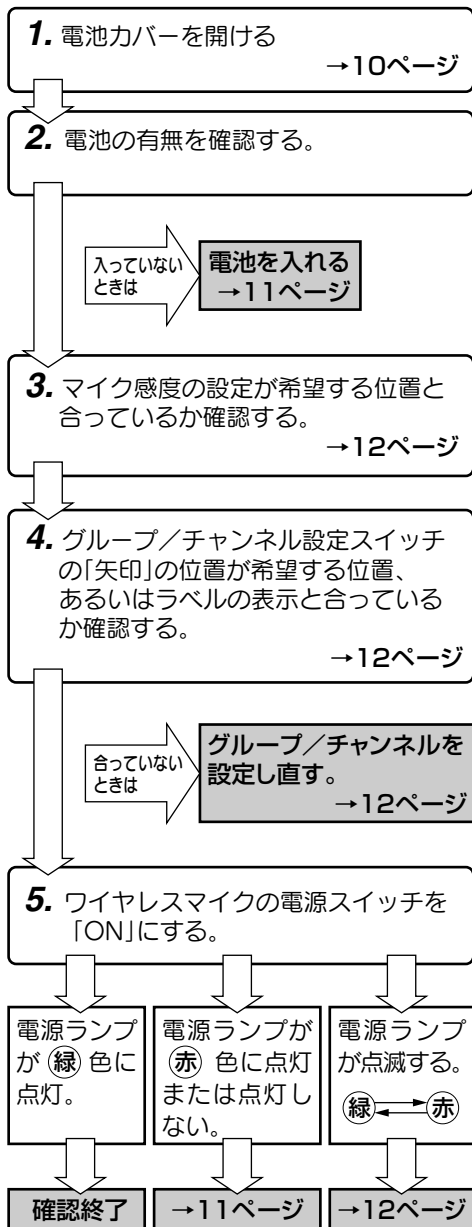
- WM-P862のキャップ内部にはスペーサーが入っています。スペーサーを水平にしてからキャップを取り付けてください。

操作のしかた

1. ご使用前の確認

安心してお使いいただくために、ご使用前には必ず下記の内容をご確認ください。

■ 確認手順



2. 電池の持続時間

本機の連続使用時間は次のとおりです。

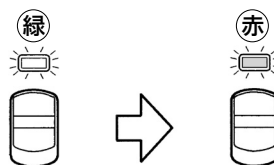
使用電池	持続時間
新品のマンガン乾電池 R6PU(NB)	9時間
新品のアルカリ乾電池 LR6(G)	22時間
満充電後の専用充電式電池	8時間

ご注意

持続時間はあくまで目安です。使用状況や、電池の状態、周囲の温度などにより変動します。

3. 電池が消耗すると

電池が消耗してくると、電源ランプが(緑)→(赤)に変わります。



ご使用中に電源ランプが(赤)に変わったら、電池を交換するか充電してください。電池交換、あるいは充電時期は次のとおりです。

使用電池	電池交換あるいは充電時期
乾電池	電源ランプが(赤)に変わってから1時間以内
専用充電式電池	電源ランプが(赤)に変わってから10分以内

ご注意

電池交換あるいは充電時期はあくまで目安です。使用状況や、電池の状態、周囲の温度などにより変動します。

4. ご使用後は

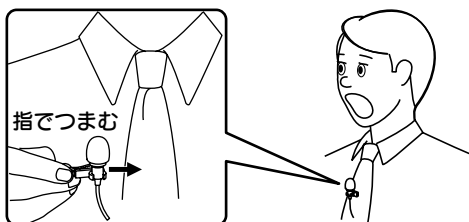
ワイヤレスマイクの電源を切ります。電源ランプの消灯を確認してください。

上手な使いかた

WM-P860の場合

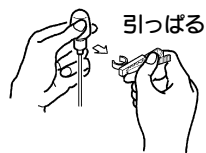
■マイククリップを使う

マイククリップを使って、ネクタイや襟などに止めてください。止める位置は、できるだけ口もとに近づけてください。

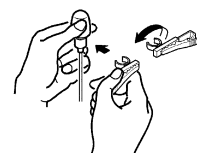


■マイククリップについて

マイククリップは左右どちらにでも方向が変えられます。



マイククリップは図のように持って引っぱるとはずれます。

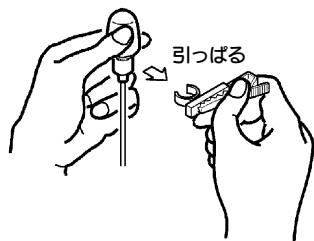


取付けるときは、マイク部の中央よりやや下に合わせ押し込みます。

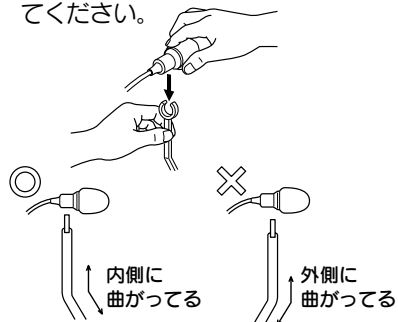
■ネックホルダーを使う

せまい室内で、スピーカーから近すぎる場合など、ハウリングがおきやすくなるとき付属のネックホルダーのご使用をおすすめします。このときは、本体のマイク感度設定スイッチを「低い」に設定します。(12ページ参照)マイク部をネックホルダーに取り付ける場合は、下記の手順でおこなってください。

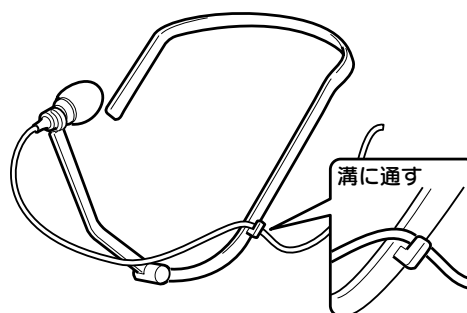
①マイク部からマイククリップをはずす



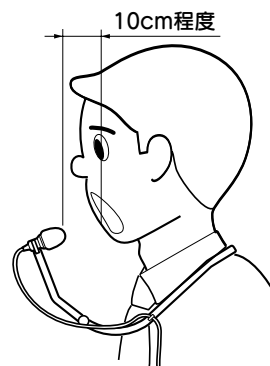
②マイク部をネックホルダーのクリップ部に差し込む。このとき取付方向に注意してください。



③マイクケーブルをネックホルダーの溝に通す



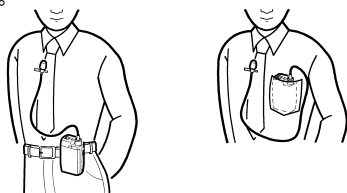
ネックホルダーを装着するときは、マイク部と口との距離が10cm程度になるようにしてください。



上手な使いかた(つづき)

■本体の収納、装着のしかた

本体は衣服のポケットに入れるか、ベルトクリップでズボンのベルトなどに装着してください。



⚠警告

本体は、金属製のヘアピンなどと一緒にポケットには入れないでください。

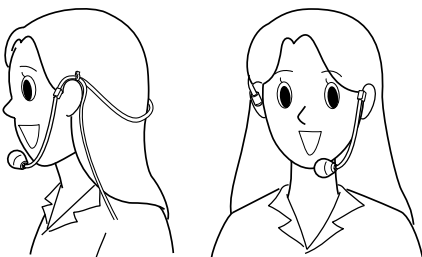


ご注意

ベルトクリップに金属物が触れると雑音が発生することがあります。

WM-P862の場合

■ヘッドセットマイクの装着のしかた

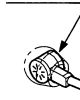


1. ヘッドバンドを図のように後頭部を通して耳に掛けて装着します。
2. マイク部の位置はフレキシブルアームで自由にセットできます。口の正面から少しはずれた状態で口元から3cm~5cm程度の距離をとるのが理想的です。

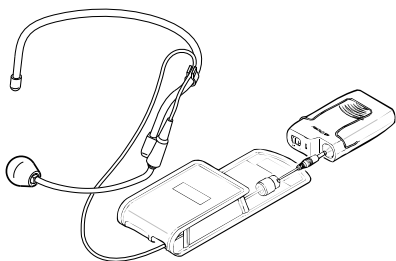
ご注意

マイク部は方向性があります。正しく口もとに向けてください。方向性があってないと、音声が小さくなります。

口もと側

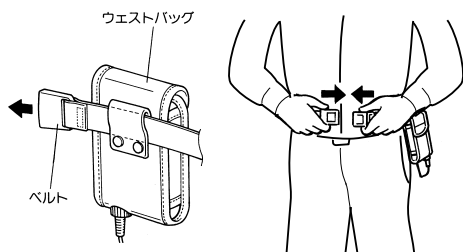


■ウエストバッグへの収納のしかた



1. マイクアセンブリを本体から取り外します。(5ページ参照)
2. 図のようにマイクケーブルをウエストバックに通し、マイクアセンブリと本体を取り付けます。
3. 本体をウエストバッグに収納します。

■ウエストバッグの装着のしかた



付属のベルト(ウエストサイズ90cmまで対応可)をウエストバッグに通すと、スポーツウェア等ベルトのない衣服に装着できます。

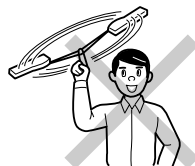
(ズボンのベルトにウエストバッグを通すこともできます。また、本体のクリップで直接ズボンのベルトなどにはさむことも可能です。)

使用上のご注意

■本機は精密電子機器です
故障の原因となりますので、下記のような取り扱いをしないでください。



人やかたい物、先が尖った物
でたたかない



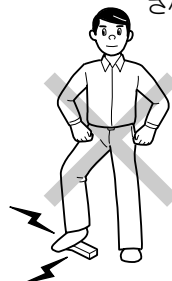
振り回したり、投げつけたり
しない



かたい床の上や、水の中に落
さない

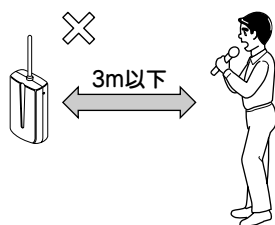


ポケットに入れたまま椅子に座ったり、ふんづけたりしない

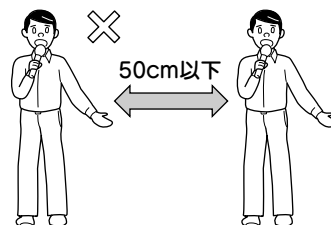


■相互妨害について

混信や妨害を起こすことがあります。次のような使用はおやめください。



アンテナに近づきすぎない



マイクどうしが近づきすぎない



- せまい室内など、アンテナから3m以下でご使用になる場合は、お買上げ販売店または最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

■携帯電話について

本機の近くで携帯電話の発着信があると、ノイズ(ジーあるいはブーンという音)を発生することがあります。お互いに離れて(3m以上)ご使用ください。

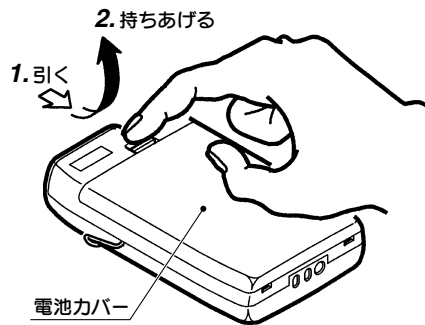
■ハウリングが起きたとき

ハウリング現象(ピーンあるいはキーンという音)を起こした場合は、ワイヤレスマイクの方向、位置などを変えるか、スピーカーから離れてください。ワイヤレスチューナーの音量を絞ることも効果的です。

電池カバーの開けかた(ロック式)

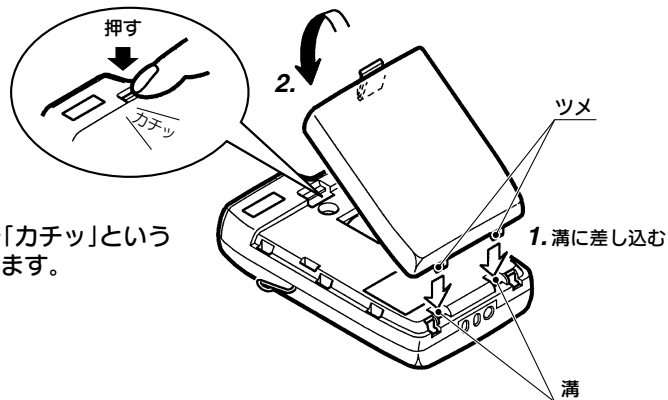
開けかた

1. 電池カバーのロック部を矢印の方向にひきながら、
2. ロック部を持ち上げ、電池カバーをはずします。



閉めかた

1. 電池カバーのツメを図のように本体の溝に差し込みます。
2. 電池カバーのロック部を「カチッ」という音がするまで押して閉めます。



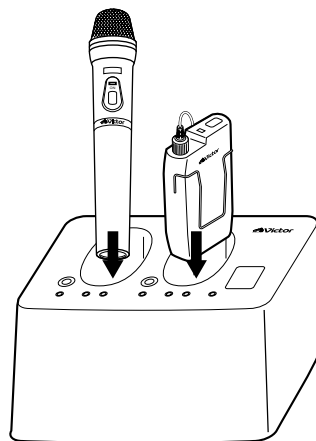
充電のしかた (専用充電器の取扱説明書もお読みください)

準備

- 別売の専用充電器WT-C62をご用意ください。

充電のしかた

1. ワイヤレスマイクの電源を切ります。(電源ランプの消灯を確認してください)電源スイッチが「ON」のままですと正しく充電されません。
2. ワイヤレスマイクを直接、専用充電器に差し込んでください。差し込むときは、マイクの方向に注意してください。



詳しくは専用充電器の取扱説明書をお読みください。

電池(乾電池 専用充電式電池)交換について

準備

- 乾電池は市販の単3形(アルカリまたはマンガン)乾電池1本をご用意ください。
- 専用充電式電池は、別売の専用充電器WT-C62に付属されているものをご使用ください。



- 本機に付属の乾電池は動作確認用です。
- 専用充電式電池のお買い求めは、お買上げ販売店、または最寄りのビクターサービス窓口案内にお問い合わせください。

電池交換のしかた

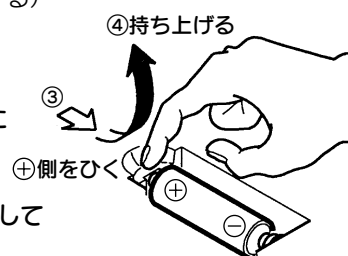
1. 電源スイッチを切ります。(電源ランプの消灯を確認する)

2. 電池カバーを開けます。

既に電池が入っている場合は、

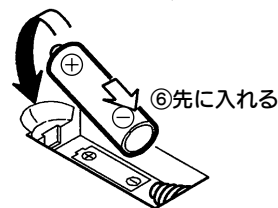
3. 電池の⊕側を図のように矢印の方向に指で引きながら

4. 持ち上げて、取りだしてください。



5. 乾電池または専用充電式電池の⊕⊖と、電池室の⊕⊖の表示を合わせ

6. 電池の⊖側から図のように入れます。



7. 電池カバーを元どおりしっかり閉めます。

電池交換がおわったら

電源スイッチを「ON」にして電源ランプが \odot 緑色に点灯することを確認してください。

こんなときは

電源スイッチを「ON」にしたとき、

電源ランプが \odot 赤く点灯する

■乾電池へ交換したとき ⇨ 古い電池だったようです。電池の交換のしかたの手順に沿って新品の電池に再度交換してください。

■専用充電式電池へ交換したとき ⇨ 充電が必要です。すぐに専用充電器で充電してください。

電源ランプが点灯しない

■乾電池に交換したとき ⇨ 電池が正しく取付けられていないか、古い電池のようです。電池交換のしかたの手順に沿って、再度電池を正しく入れ直すか新品の電池に交換してください。

■専用充電式電池に交換したとき ⇨ 電池が正しく取付けられていないか、充電が必要です。すぐに専用充電器で充電してください。



- 専用充電式電池を初めてご使用になる場合や、長期間使用していなかった場合には、ご使用になる前に必ず充電してください。

マイク感度の設定について

WM-P860の場合

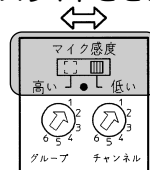
ポイント

せまい室内で、スピーカーが近すぎる場合など、ハウリングがおこりやすいときは、付属のネックホルダーのご使用をおすすめします。このとき、マイク感度を「低い」に切替えてください。タイピンでの使用に比べ、マイク部を口元に近づけることができ、ハウリング防止に効果があります。

設定のしかた

1. 電源スイッチを切ります。(電源ランプの消灯を確認する。)
2. 電池カバーを開けます。
3. マイク感度設定スイッチを、希望する側にスライドさせます。
4. 電池カバーをもとどりにしっかり閉めます。

スライドさせる



- 工場出荷時のマイク感度は「高い」に設定しています。
- スイッチの「●」の位置でのご使用はおやめください。音はできますが、正しい集音ができません。

WM-P862の場合

- 工場出荷時のマイク感度は「低い」に設定しています。設定を変えずにご使用ください。

グループ/チャンネルの設定について (ワイヤレスチューナーの取扱説明書もお読みください)

設定の前に

設定の前に次のことをご確認ください。

1. グループおよびチャンネルは、組み合わせ表の中から選んでください。

ご注意

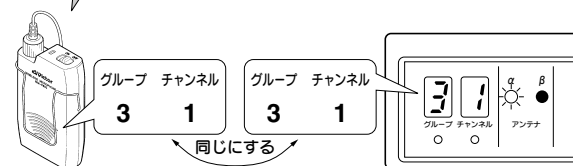
組み合わせ表にない設定や 部の設定は使用できません。

<グループ/チャンネル組み合わせ表>

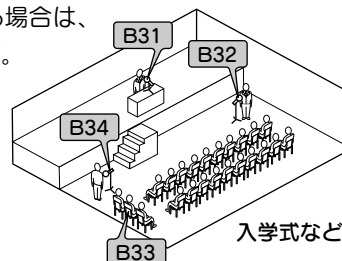
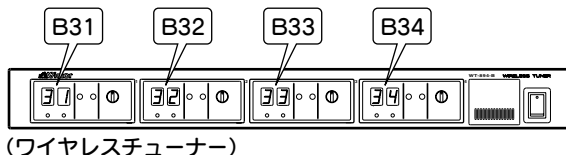
グループ	チャンネル	1	2	3	4	5	6
B	1	B11	B12	B13	B14	B15	B16
	2	B21	B22	B23	B24	B25	B26
	3	B31	B32	B33	B34	B35	B36
	4	B41	B42	B43	B44	B45	B46
	5	B51	B52	B53	B54	B55	
	6	B61					

⇒ 30波

2. ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーが同じになるように割り付けます。



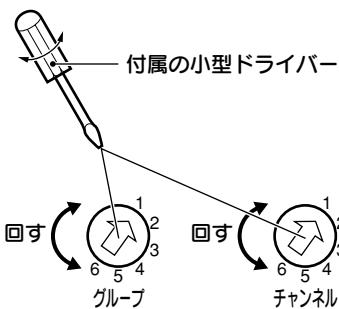
3. 同一場所で、ワイヤレスマイクを同時に2本以上使用する場合は、全て同じグループで全て違うチャンネルに割り付けます。



グループ/チャンネルの設定について

設定のしかた

1. 電源スイッチを切ります。(電源ランプの消灯を確認する。)電源が入ったまま(電源ランプが点灯した状態)ですと、設定できません。
2. 電池カバーを開けます。
3. グループ設定スイッチの「矢印」を“クリック”に合わせ希望する位置まで回します。
4. チャンネル設定スイッチの「矢印」を“クリック”に合わせ希望する位置まで回します。
5. 電池カバーをもとどおりにしっかり閉めます。



ご注意

スイッチを頻繁に回すことや、強い力で押しつけることはおやめください。故障の原因となります。



- 工場出荷時のグループ/チャンネルは「B31」に設定しています。
- 万一、電源を入れたまま、グループあるいはチャンネルを変更したときは、一度電源を切り、2～3秒してから再び電源を入れ直してください。前の設定がキャンセルされ、自動的に新しい設定に変わります。

設定の確認

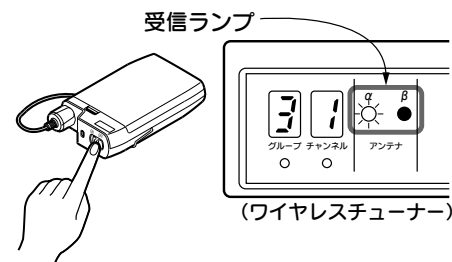
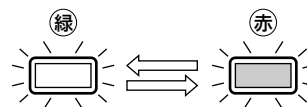
設定が終了したら、ワイヤレスマイクの電源を入れ、電源ランプが緑色(電池が新しいとき)に点灯することを確認してください。



- 近くにワイヤレスチューナーがあるときは、ワイヤレスマイクの電源を入れたときワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯することを確認されると確実です。

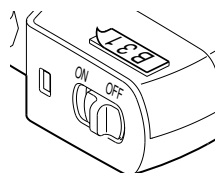
こんなときは

ワイヤレスマイクの電源を入れたとき、電源ランプが緑と赤の交互点灯を繰り返すときは、設定に誤りがあります。再度、設定を見直してください。



設定がおわったら

付属のチャンネル表示ラベルを本体の所定の位置に貼ることをおすすめします。



こんなときは

使用中に不具合が生じた場合は、下記の内容をお調べください。
それでも症状が改善されないときは、お買上げの販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

症 状	チェックする箇所	処 置	参照ページ
電源スイッチを「ON」にしても、電源ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池は正しく取付けられていますか。 電池切れになっていませんか。 乾電池 → 充電式電池 → マイクプラグが本体からはずれていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電池を正しく入れ直してください。 新品の乾電池と交換してください。 充電してください。 マイクプラグを本体にしっかり差し込んでください。 	<p>⑪</p> <p>⑪</p> <p>⑩</p> <p>⑤</p>
電源スイッチを「ON」にしたとき、または使用中に電源ランプが赤く点灯する。または赤色に点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗しています。 乾電池 → 充電式電池 → 	<ul style="list-style-type: none"> 新品の乾電池と交換してください。 充電してください。 	<p>⑪</p> <p>⑩</p>
電源スイッチを「ON」にしたとき、電源ランプが緑と赤の交互点灯を繰り返す。	<ul style="list-style-type: none"> グループまたはチャンネル設定スイッチは正しい位置にありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> グループまたはチャンネル設定スイッチを正しい位置にしてください。 	⑫
電源スイッチを「ON」にしたとき、または使用中に電源ランプが緑色に点滅する。	—	<ul style="list-style-type: none"> お買上げ販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。 	—
送信できない(ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯しない。)	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーは同一のグループおよびチャンネルに設定されていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーを同一のグループ、およびチャンネルに設定し直してください。 	⑫
雑音がでたり、音が途切れたりする。(ワイヤレスマイクを1本のみ使用)	<ul style="list-style-type: none"> アンテナから離れすぎた場所にいませんか。 マイクの近くに金属類、または携帯電話、PHS等の無線機器はありませんか。 マイクプラグが汚れていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナに極力近づいてください。 マイクと金属類、または携帯電話、PHS等の無線機器を離してください。 マイクプラグを清掃してください。 	<p>⑨</p> <p>⑨</p> <p>⑤</p>
雑音がでたり、音が途切れたりする。(同一場所で、ワイヤレスマイクを2本以上同時に使用)	<ul style="list-style-type: none"> グループおよびチャンネルの設定が同じマイクはありませんか。 ワイヤレスマイク同士が近づきすぎていませんか。 ワイヤレスマイクとアンテナが近づきすぎていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> グループおよびチャンネルを正しく割り付けてください。 ワイヤレスマイク同士の間隔を50cm以上離してください。 ワイヤレスマイクとアンテナの間隔を3m以上離してください。  	<p>⑫</p> <p>⑨</p> <p>⑨</p>

保証とアフターサービスについて

保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

異常のあるときは、「こんなときは」をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも具合が悪いときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にて修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ワイヤレスマイクロホン
型名	WM-P860/WM-P862
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	〒() -
------	---------	--------

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

消耗品について

この取扱説明書の中で、消耗品と記載されてあるもの、および「小型ドライバー」などの付属品は、保証期間内でも有償とさせていただきます。お買求めの際は、お買い上げ販売店、または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

商品の廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

主な仕様 (本機の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがあります。)

送信周波数	806.125~809.750MHz間の125kHzステップ30波
電波型式	F3E
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	直接周波数変調方式
空中線電力	5mW
アンテナ	本体内蔵方式
周波数偏移	±5kHz(86dB SPL 1kHz マイク感度設定「高い」時)
コンプレッサ	1/2対数圧縮コンパンダ方式
実用到達距離	約60m(屋外の見通しの良い場所で、当社製チューナー/WT-892とアンテナ/WT-Q830との組合せ時)
マイクロホン型式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
マイク感度	「高い」/「低い」切替式
電源(使用電池)	DC1.5V(単3形乾電池×1)または、DC1.2V(専用充電式ニカド電池×1)
電池寿命	約9時間(単3形マンガン乾電池/R6P(NB)使用、常温で連続使用時)
動作温度範囲	0℃~+40℃
外形寸法	62(幅)×100(長さ)×22(厚み) mm (突起物、マイクアッセンブリ含まず)マイクケーブル長:800 mm(WM-P860)、900 mm(WM-P862)
質量	105g(電池含まず)(WM-P860)、114g(電池含まず)(WM-P862)
仕上げ	抗菌性ABS樹脂、ダークグレー
付属品・添付物	保証書 1 ビクターサービス窓口案内 1 電池の取扱いについてのご注意 1 取扱説明書 1 チャンネル表示ラベル 1 単3形乾電池(動作確認用) 1 小型ドライバー(チャンネル設定用) 1 ネットホルダー(WM-P860のみ) 1 ソフトバッグ(WM-P860のみ) 1 ウェストバッグ(WM-P862のみ) 1 ベルト(WM-P862のみ) 1 ウィンドスクリーン(WM-P862のみ) 1

WM-P860 / WM-P862 ワイヤレスマイクホン



ワイヤ

型名 WM
WM

技術

お客様ご相談センター



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (03)5684-9311 [代表]

FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203

— お
ご使用前に、こ
ご注意]をお読み
そのあと保証書

製造番号は品質
造番号が正しく
されている製造